

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年10月28日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月28日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って御説明をいたします。

まず、1ポツの原子力委員会についての（2）ですけれども、11月2日（水）の夕方に臨時会議があります。QST（量子科学技術研究開発機構）の経営層との意見交換ということになります。

QSTは中長期計画が今年度が最終年度なので、来年度からの中長期計画に向けて今議論を進めているところですが、そういうこともありますので、このタイミングで意見交換を行うということにしています。QSTからは平野理事長が出席されます。

2ポツの10月28日、これは今日なのですけれども（2）のところですが、原子力委員会と規制委員会との意見交換会です。これは日程の公表が水曜日になってしまったので、この場で説明するのが当日になっています。

原子力委員会の基本文書であります原子力利用の基本的考え方というのが、今年が5年に1回の改定の年になっていまして、ある程度検討も進んできたようですので、このタイミングで意見交換をしましょうということで意見交換をするということになったものであります。

次が、2ページ目、11月1日の（4）特定兼用キャスクの型式証明の審査会合です。

議題は1つで、GNS（Gesellschaft für Nuklear-Service GmbH）というドイツの会社からの申請になります。昨年春に申請があったようなのですけれども、日本語での審査対応が難しいということで、これまで書面審査みたいなものを進めてきたのですけれども、日本語対応もできるようになりましたということなので、今回初の審査会合ということになります。

次が、11月1日の（5）第1089回審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は泊3号機の許可ということで、前回9月に引き続いて防潮堤の件ということになります。

2つ目は浜岡でありまして、これは審査スケジュールの確認ということになるようです。

次が、3ページ目に行きまして、11月1日の（7）放射線審議会の総会です。

議題は2つありまして、眼の水晶体の等価線量限度のフォローアップということになります。これは2年前に答申を行っているのですが、そのときに厚生労働省に対して宿題を出しては、昨年も聞いたのですが、引き続き厚労省からその後の取組状況の報告を受けるということになります。

もう一つが、自然起源放射性物質（NORM）について、国際機関や各国の法規制の動向などが報告されるということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

御質問はございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—